

この社会科副読本「わたしたちの しおがま」で、塩竈市のよさやすばらしさ、市を支えている人たちについて学び、市のみなさんの思いや願いを感じながら、学習を深めてください。

令和3年11月23日、わたしたちの住む「塩竈市」は町から市になって、80年という節目を迎えます。元号は、昭和から平成、そして、令和が始まりました。豊かで住みよい市にするために、これまでたくさんの人びとがいろいろな工夫や努力をして、力を合わせて生活してきました。その中でも、平成23年3月11日の東日本大震災では、大きな被害を受けましたが、決して諦めず、前を向いて歩んできました。

塩竈市がいつまでも、いつまでも輝き続ける魅力的な市になるために、自分の考えを出し合い、将来の夢について話し合ってみましょう。

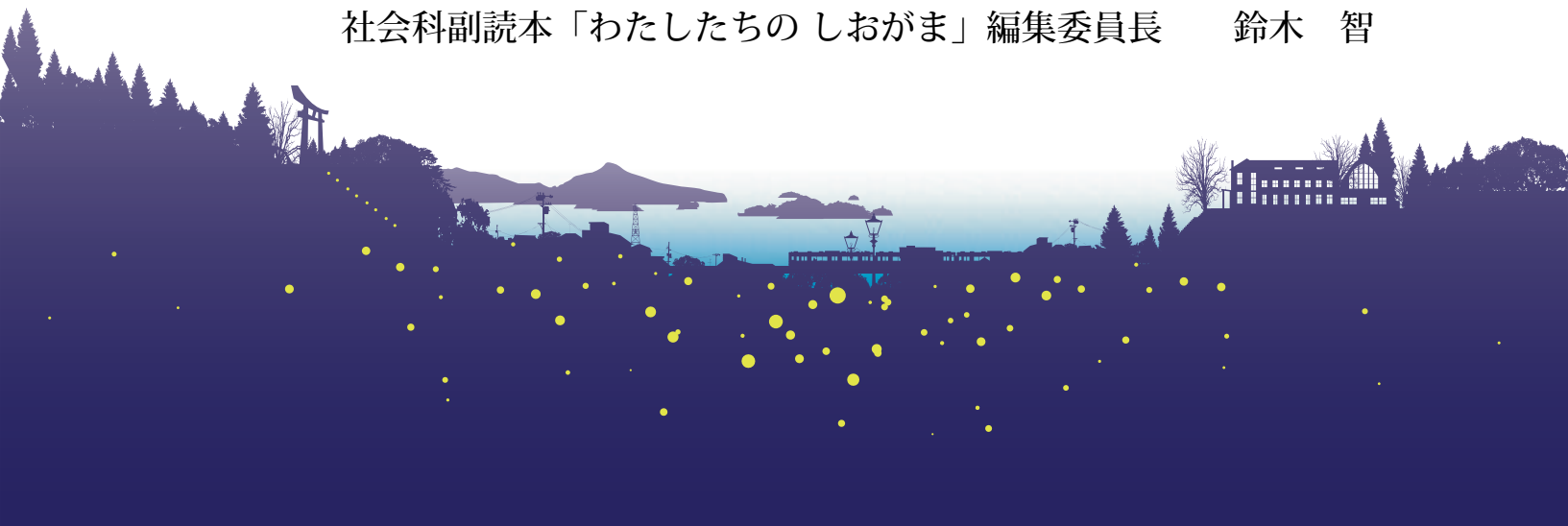
社会科の学習では、「なぜ」「どうして」と一人一人が課題をもち、調べ学習や見学・体験学習を通して、友達と力を合わせて、考えながら学びを深めることが大切です。

みなさんが学んだことを通じて、大人になってからも「ふるさと しおがま」への思いを持ち続けながら、社会に役立つ人になることを心から願っています。

最後に、この本の編集にあられた事務局の塩竈市教育委員会のみなさん、各校の編集委員の先生方、取材にご協力いただいた関係機関、多くの関係者のみなさまに感謝いたします。

令和3年4月

社会科副読本「わたしたちの しおがま」編集委員長 鈴木 智



## 編集委員・事務局

委員長	鈴木	智	(第二小学校校長)
副委員長	安倍	浩一	(浦戸小学校主幹教諭)
委員	川嶋	信一	(第一小学校教諭)
委員	伊勢	革観	(第二小学校教諭)
委員	鈴木	昭太郎	(第三小学校教諭)
委員	村井	直美	(月見ヶ丘小学校教諭)
委員	日野	江美	(杉の入小学校教諭)
委員	三瓶	由香子	(玉川小学校教諭)
委員	菊地	貴典	(生涯学習課社会教育主事)

### 事務局

阿部	光浩	(教育部長)
本田	幹枝	(次長兼市民交流センター館長)
白鳥	武	(参事兼学校教育課長)
小林	真季	(主幹兼学校教育係長)
渋谷	和彦	(学力向上推進係長兼指導主事)

### 資料提供

本書の改訂・編集にあたり、塩竈市をはじめ、市民図書館・消防署・警察署・国の機関など官公署、漁協、鹽竈神社博物館、市内商業施設、そのほか各関係団体から貴重な資料をご提供いただきました。また取材に快くご対応いただきました。心より感謝申し上げます。

昭和50年2月28日	初版
平成23年7月15日	全面改訂
令和3年6月16日	改訂
令和4年5月31日	A4版化
編集発行 塩竈市教育委員会	
印刷 株式会社 東誠社	